

2026年5月4日(月)  
SUPER GT 第2戦 決勝  
富士スピードウェイ

### 決勝結果

12位

### 決勝概要

- ・3時間レースのスタートを担当した大草はポジションダウンしながらも懸命に1時間を走りフラガへ交代
- ・フラガは辛い周回が続くなかダブルスティントを走り切り12位

### コメント

代表：中嶋 悟

「昨日の予選とは打って変わり、厳しいレースとなりました。次戦までに間が空くので、その間にしっかりと対策をしたいと思います。今大会もたくさんのご声援をありがとうございました」

監督：伊沢 拓也

「予選ポジションが良かったので、決勝には期待をして挑んだのですが、スタートから想像していないくらいペースが良くありませんでした。長いレースの中でいろいろなことを試しながら、良くなる方向性を探ったのですが、好感触はなく終わってしまったのは非常に残念です。長い休みを挟んで、次のレースも富士での戦いになります。この間にしっかりと立て直して次のレースに挑みたいと思います」

## 大草 りき

「岡山大会と同じような状況が起きていて、根本的な解決がまだできていないと感じるレースでした。予選ではいい感触があったのですが、あの予選だけがこのレースウィークで唯一異なるコンディションだったので、そこに合っていたということにヒントがあるのかなと思っています。次のレースまでは時間が空くので、今回の大会で得られたものをしっかりと分析して、皆で考え直して次に向けて準備していきます」

## イゴール・オオムラ・フラガ

「大草選手も序盤からペースが伸び悩んでいる状態で、今日は難しいレースになるぞと感じていました。自分のスティントに入る時にはほとんど勝負権がない状態になっていましたが、ここから先に向けて何かを活かさないといけないと、やれることを試していった感じです。今日はタイヤに厳しいコンディションだったのか、GT300クラスでもタイヤアクシデントに見舞われているチームもあったので、安全策をとってもう一度タイヤを交換しました。厳しい週末でしたが、ヒントはあったと思うので、データを分析して次につなげられるようにしたいです」

※次戦は8月1日・2日に富士スピードウェイで開催されます。